



議会だより

かわしま



「絶景のハス」平成の森公園

5月臨時会審議結果

6月定例会審議結果

審議会結果

P 2 ~ P 4

委員会の動き

P 5 ~ P 6

一般質問

P 7 ~ P 11

No. 118

平成29年7月25日

議長に 森田敏男 氏

りました

副議長に 爲水順二 氏



もり
た
とし
お
森田敏男 議長

住んでよかったと実感できる

まちづくりを目指して

町民の皆様には、日頃から議会活動
に對しまして、深いご理解とご協
力を賜り、心よりお礼申し上げます。

さて、去る5月10日の臨時議会に
おきまして、議員各位のご推挙を
いただき、川島町議会議長の重職を
受けすることになりました。身に余
る光栄と共に、その職務の重責に
身が引き締まる思いであります。

社会経済情勢が刻々と変化してい
る中、川島町民の代表として、議
会の果たすべき役割を十分認識し、少
子高齢化や人口減少問題、空き家対
策、農地の集積等に取り組んでい
なければなりません。

特に、小学校の統合に伴う学校跡
地等の活用、インター南側地区開
発などは、喫緊の課題であります。こ
のような課題の解決に向け、最善の
努力を尽くし、本町の発展と町民福
祉の向上に、誠心誠意取り組む所存

であります。

我々、議会人としての任務は、町
執行部からの提案に對する審議は勿
論、町民の皆様の声をいかに届ける
かが、大切であると考えております。
常に町民の皆様の声を町政に反映し、
10年後、さらにその先も川島町が発
展を続け、川島に住んでよかったと
実感できるまちづくりを目指して、
議員一丸となって、取り組んでまい
ります。

また同時に、町民の皆様との議会活
動に對する関心を高めることも、
極めて意義あることと認識しており
ます。引き続き議会だよりや町ホ
ムページでの情報発信を図り、透明
性のある分かりやすい議会運営に、
力を注いでまいります。

結びに、今後も一層のご支援・ご
協力を賜りますようお願い申し上げ、
議長就任の挨拶といたします。



議会運営委員会

(定数6人)

議会の運営に關すること、議会の会議規則、委員会に關する
条例等に關すること、議長の諮問等に關することを協議し
ます。

<後列左から>

飯野 徹也

道祖 土証

新井 悦子

<前列左から>

○ 小高 春雄

◎ 山田 敏夫

石川 征郎

議長、副議長決まる！ 各委員会の構成が替わ

5月10日に臨時会が行われ、正副議長の選挙、議会運営委員会及び常任委員会の選任、一部事務組合議会議員の選挙などを行い、議会の構成が決定いたしました。

(◎…委員長、○…副委員長)

文教厚生常任委員会

(定数7人)

町民生活課、健康福祉課、子育て支援課及び教育委員会に関することを担当し、議案・陳情等を審査します。



<後列左から>

松原 謙司 森田 敏男 稲村 美代子

<前列左から>

小高 春雄 ◎新井 悦子 ○小峯 松治 道祖 土証

総務経済建設常任委員会

(定数7人)

政策推進課、総務課、税務課、農政産業課、まち整備課、上下水道課、出納室などに関すること及び他の常任委員会に属さないことを担当し、議案・陳情等を審査します。



<後列左から>

爲水 順二 菊地 敏昭 栗岩 輝治

<前列左から>

山田 敏夫 ◎飯野 徹也 ○遠山 尚 石川 征郎



議会報編集委員会は、新たな体制となりました。今後は、紙面の充実と、親しまれる議会だよりの作成に努めます。

議会報編集委員会

監査委員

石川 征郎

議会推薦農業委員

菊地 敏昭

比企広域市町村圏組合議会議員

森田 敏男 道祖 土証

川越地区消防組合議会議員

菊地 敏昭 飯野 徹也 小峯 松治

6月 定例会 議案審議結果

平成29年6月定例会は、6月8日から6月15日までの会期8日間で開催されました。主な議題は、条例の一部改正1件、人事案件が2件、議員提出議案2件を審議しました。また、一般質問は9人が登壇し活発な質問が展開されました。議案の審議結果は次の通りです。

条例

■議案第35号 川島町個人情報保護条例及び川島町個人情報番号の利用及び特定個人情報提供に関する条例の一部を改正する条例を定めることについて
個人情報保護に関する法律及び行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律の一部が改正されたことに伴い、条例の一部を改正するものです。
【全員賛成・可決】

補正予算

■議案第36号 平成29年度川島町一般会計補正予算(第1号)
歳入歳出にそれぞれ773万6千円を追加するものです。主なもの、農林水産業費等の追加です。
【全員賛成・可決】

契約の締結

■議案第37号 工事請負契約の締結について(川島町民体育館ほか外壁等改修工事)
川島町民体育館ほか外壁等改修工事の契約を締結するものです。
【全員賛成・可決】

人事

■議案第38号 固定資産評価員の選任について
固定資産評価員に濱中勉氏を選任するものです。
【全員賛成・同意】

■議案第39号 監査委員の選任について
【全員賛成・同意】

監査委員に藤間紀弘氏を選任するものです。
【全員賛成・同意】

議員提出議案

■議提第2号 学校跡地等活用調査特別委員会設置に関する決議について
学校統合に伴い廃校となる小学校跡地等の活用を調査する特別委員会を設置するものです。
【全員賛成・可決】

■議提第3号 川島町議会の議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部を改正する条例を定めることについて
学校跡地等活用調査特別委員会の設置に伴い、条例の一部を改正するものです。
【全員賛成・可決】

5月臨時会

専決処分

■議案第33号 専決処分の承認を求めることについて(川島町税条例の一部を改正する条例)
地方税法及び航空機燃料譲与税法の一部が改正されたことで、川島町税条例の一部を改正するものです。
【全員賛成・承認】

人事

■議案第34号 監査委員の選任について
監査委員に石川征郎氏を選任するものです。
【全員賛成・同意】



学校跡地等活用調査特別委員会

(定数7人)

学校統合に伴い、廃校となる小学校跡地等の活用を調査します。

<後列左から>

松原 謙 司 小 峯 松 治 栗 岩 輝 治

<前列左から>

飯 野 徹 也 ◎ 山 田 敏 夫 ○ 菊 地 敏 昭 新 井 悦 子

新規就農者を支援（2名追加し、8名に）

●議案第35号 川島町個人情報保護条例及び川島町個人番号の利用及び特定個人情報提供に関する条例の一部を改正する条例を定めることについて

問 旧条例第6条第2項の1号から3号が削除となる理由は。転入者の情報も区長や民生委員に提供できないとの答えが本会議であったが間違いないか。

答 改正前の条例では、収集して

はならない情報を第1号から第3号各号の規定で限定していたが、今回の改正で全ての要配慮個人情報について、本人の同意が必要となったということ削除しました。

転入者の情報に関して、以前は区長に対し町から通知があったとのことですが、現在は転入者に対し、お住まいの地区の区長の名前を教え、自治会への加入を促す対応をしています。転入だからという理由で、転入者の情報を区長や民生委員に提供することは、目的外使用であり、個人情報の保護の観点からできないものです。

問 転入時に、ごみ収集の日程表等が転入者に配布されなかったことがあったというが、どうなのか。

答 現在は、転入の方については、手続きが一度で済むようにチェック表を使って対応しています。

●議案第36号 平成29年度川島町一般会計補正予算（第1号）

問 歳出で、新規就農者が2名追加とのことだが、当初予算825万円の内訳は。

答 新規就農総合支援事業の当初予算は、5人が150万円で750万円、一人が夫婦型の方となり75万円で、合計825万円計上しました。

問 新規就農者の抱えている住居、資金、土地などの問題への対応は。

答 この事業は新規就農者の収益が上がる部分カバーできるよう国から支給されるもので、交付用途を限定せず、生活費でも機械の購入でも利用できる補助となっております。町にも同様に新規就農者を支援する事業があります。また無利子の公的資金なども準備されています。住居の確保は難しい問題ですので、相談があった場合個別に関係機関と連携して対応していきます。

問 補助金額150万円は妥当か。

答 事業の目的である就農意欲の喚起と就農後の定着を目的として



下八ツ林集落活動組織による植栽活動

想定された金額だと思えます。

問 多面的機能支払交付金を受ける団体を10くらいにしたいとの話があったが、制度のPRの考えは。

答 下八ツ林の集落活動組織が優良事例表彰を受賞したので、その周知記事と合わせ広報で制度のPR記事を予定しています。また旧村単位でモデル的に組織を立ち上げ進めていくとともに、周知を図っていきます。



情報公開のパンフレット

川島スタイル健幸マイレージ事業をスタート

けんこう

●平成29年度川島町一般会計補正予算（第1号）

問 健幸マイレージで、貯めたポイント数に対しての賞品還元は。

答 名刺サイズのポイントカードを発行し、貯めたポイント数により、賞品交換をします。30ポイントから賞品交換可能で、最大70ポイントまで。賞品は30ポイントで300円程度のを、70ポイントでは、付加価値を付け1,500



健幸マイレージカード

0円程度のを考えています。

問 健幸マイレージの開始時期と県の補助は。

答 特定健診の開始時期7月からスタートします。県補助はありません。

問 健幸マイレージの対象者を拡大する予定は。

答 健康福祉課で実施している健康教室等、健康づくりに関する事業での参加者を対象としています。

問 人間ドックでのポイント付与は。

答 特定健診、がん検診、人間ドックに5ポイントボーナスポイントが付与されます。特定健診とがん健診の両方をしていただくと、10ポイント付与されます。

問 1回の事業参加で何ポイント付与か。

答 1事業参加1ポイントです。サポーターは参加者でもあり、運営者での参加ですので2ポイント付与されます。ポイントカードの

有効期限は初回事業参加から1年間です。

問 小中学校の受水槽の容量は。

答 災害時に何日程度の水を貯えるのか。

問 受水槽が設置してある中山小

15・8丁、伊草小13・5丁、出丸小12丁、川島中21丁、西中36丁です。災害時については、基本的には、備蓄用の水で対応するため、受水槽の水を利用することは想定していませんが、災害時の断水の際緊急に使用することを想定しています。

●工事請負契約の締結について

（川島町民体育館ほか外壁等改修工事）

問 工事内容は。また、太陽光発電設備の設置工事と同時にできなかったのか。

答 外壁塗装修繕工事ほか、6工事です。太陽光発電設備の設置は、補助金を活用したので先行して行いました。



改修予定の川島町民体育館

健幸マイレージ事業とは

健診を受けたり、健康づくりの教室や介護予防の体操などに参加すると、ポイントが獲得できる事業です。

獲得したポイントは、かわべえオリジナルグッズや、健康グッズと交換することができます。

詳しくは、広報かわじま7月号の7ページをご覧ください。

町の考えを問う

町政一般質問要旨 6月13日、14日に一般質問が行われました。

※一般質問の内容は各質問議員によって編集されています。

道祖土 証 議員

- ・当町の生活困窮者と子どもたちの貧困の現状と対策について
- ・川島町学校給食について

新井 悦子 議員

- ・ごみ排出量の削減について
- ・就学援助「ランドセル等新入学児童生徒学用品費」の入学前支給について

栗岩 輝治 議員

- ・上下水道事業について
- ・町道3557号線について
- ・国民健康保険の広域化について

稲村 美代子 議員

- ・就学援助費について
- ・サイクリストと観光について
- ・平成の森公園について

石川 征郎 議員

- ・人口減少問題の対策について

小峯 松治 議員

- ・農地保全と土地改良区について
- ・子育て支援について

松原 謙司 議員

- ・防災行政無線について
- ・農道及び用水路に架かる小規模な橋の整備について

飯野 徹也 議員

- ・県道川越栗橋線の整備について
- ・リサイクルセンターについて
- ・水道事業の漏水対策について

菊地 敏昭 議員

- ・町長への提案について
- ・町の農業政策等について
- ・企業誘致について
- ・町民の足の確保公共交通について



問 学校給食の無償化や学校給食補助金の復活は

答 給食の無償化や補助金復活は考えていない

道 祖 土 証

問 子育て支援の意味からも学校給食の無償化や補助金の復活の考えは、

答 町長 受益者負担の原則から給食の無償化や補助金の復活は考えていません。

問 ひとり親家庭数、児童生徒数とその対応は。

答 子育て支援課長 134世帯、児童生徒数は188人おり、ひとり親家庭医療費支給事業などの支援を行っています。

問 小中学校の不登校児童生徒数とその対応は。

答 教育総務課長 30日以上欠席した児童生徒は、小学生1人、中学生



かわじま学習支援教室

5名で学校と連絡を密に、適応指導教室の活用やスクール・カウンセラー及びさわやか相談員と連携しながら一人ひとりの状況に応じたきめ細やかな指導に取り組んでいます。

問 高校生の中途退学者数及び不登校生徒数と、その対応は。

答 教育総務課長 義務教育課程を離れ把握が困難な状況ですが、東松山区少年非行防止ネットワークの場等で情報交換し連携を密にし、中途退学や卒業生の進路まで把握していきたい。

問 生活困窮家庭の負の連鎖を断ち切る対策は。

答 健康福祉課長 経済的理由で自立困難な状態から将来不安定な状況に陥り、親から子の代まで貧困状態が連鎖していく深刻な状況を断ち切るため教育、福祉分野と多くの関係機関と連携を図り、取り組んでいきます。



問

就学援助ランドセル代等
入学前支給は

答

平成29年度に準備を進めたい

あら
新井悦子

問 ごみの排出量が県内ワースト3位の中、今後のごみ削減に向けて町は、どのように考えているか。

答 町長 ごみ減量化を推進するため、事業系ごみでは一般廃棄物処理業許可業者からの聞き取り調査と実態調査を実施、家庭系ごみは職員の推進プロジェクトチームを立ち上げ、可燃ごみ20%削減に取り組みます。

答 町民生活課長 可燃ごみの組成で紙、布類が半分以上あるので、雑紙整理袋の活用や、生ごみの水きりがごみ削減に効果的です。



ランドセル等新入学児童生徒学用品

問 シュレッダーの紙は資源ごみか。生ごみ処理機の補助金はあるのか。

答 町民生活課長 資源ごみになります。補助金はありません。

問 就学援助「ランドセル等新入学児童生徒学用品費」の入学前支給はどのように考えているか。

答 教育長 援助を必要とする時期に速やかな支給が行えるよう、小中学校の入学する年度の開始前に支給するよう努めます。

答 教育総務課長 川島町定例教育委員会、就学援助費支給要綱の一部改正を行いました。小学校の入学前支給は、時期等調査研究し、前向きに対応していきます。

問 準要保護児童生徒にも対応が必要と考えるが、町の見解は。

答 教育総務課長 町独自で定めている支給要綱の改正を行い、適切な時期に事務手続きを行い、平成30年度に入学する児童生徒に対して、29年度中に入学前支給をさせていただきます。

準備を進めたいと考えています。

問 上水道料金で、基本料金以内の戸数はどの位か。

答 上下水道課長 13ミリ口径は3651戸中、1162戸で約32%、20ミリ口径は3604戸中、490戸で約14%となっております。

問 基本料金以内の家庭が多くあり1人家庭などで、2カ月で2立方の方もいる。川越市や嵐山町のように使用した水量に応じた計算方式に変える考えは無いか。

答 上下水道課長 基本料金は20m³までの使用水量が含まれており、現時点での変更は考えておりません。

問 町道3557号線の計画について

答 まち整備課長 圏央道と八幡団地のアクセス道路としての計画です。

問 交通量の調査と見込み予想はどうか。

答 まち整備課長 交通量の調査は実施していません。交通量の見込みは一日当り250台から1000台を設計条件としています。

問 三井精機境界の桜並木の対応は。

答 まち整備課長 桜は一部を伐採する予定です。

問 国保の財政運営主体が来年4月から県に移行となる。県の予想では、川島町は9%アップとなっている。町民への公表は。

答 健康福祉課長 現時点での試算は不確定要素が多いので、町としての公表は差し控えています。

問

低量使用家庭の水道料金の見直しの考えは

答

基本料金の変更は困難

栗岩 治 輝



吹塚浄水場

て圏央道の側道から、白金工業までの道路が開通し、3ヶ月が経過した。今年度予算で、白金工業から三井精機まで530m、越辺川沿いの建設計画の目的は何か。

答 まち整備課長 圏央道と八幡団地のアクセス道路としての計画です。

問 交通量の調査と見込み予想はどうか。

答 まち整備課長 交通量の調査は実施していません。交通量の見込みは一日当り250台から1000台を設計条件としています。

問 三井精機境界の桜並木の対応は。

答 まち整備課長 桜は一部を伐採する予定です。

問 国保の財政運営主体が来年4月から県に移行となる。県の予想では、川島町は9%アップとなっている。町民への公表は。

答 健康福祉課長 現時点での試算は不確定要素が多いので、町としての公表は差し控えています。



平成の森公園にあるサイクルラック

問 文部科学省は、要保護者に対する就学援助の入学金について、国の補助単価を2倍に引き上げる、支給時期を入学前でも可能とすると改正しました。川島町の対応は。

答 **教育長** 平成29年3月31日の国の改正を基に川島町でも入学準備金の引き上げを行いました。また、小1、中1は新年度の開始前に入学準備金を支給できるようにします。

問 就学援助費には、入学準備金その他、学校給食費や修学旅行費等がある。

問 平成の森公園の歩道の一部がガタガタして歩きにくいという声があります。車いすやベビーカーが通りやすいように改修してほしい。また、駐車場やトイレの矢印の看板を増やしてほしい。今後の予定は。

答 **まち整備課長** 歩きやすい歩道に向けて、実施計画を基に順次整備していききたい。看板は追加・交換していきます。

問 最近、町内でもサイクリストをよく見かけます。サイクルラックを置く事業所もあるようですが、観光事業として発展させる考えは。

答 **町長** サイクリング環境を整備していきま。埼玉県自転車競技連盟から自転車競技大会（クリテリウム）の話があり、町のPRとして活用したいと思えます。

問 他市町村ではクラブ活動費もあるようですが、川島町で支給する考えは。

答 **教育総務課長** 他市町村の状況を踏まえ検討していきます。



答

問

自転車競技大会で町PRを

サイクリングを
観光化する考えは

稲村 美代子



問 町の人口減少問題の対策は

答 空家対策の充実で解消を図ります

石川 征郎

問 空家に付随した、同一敷地内の農地の取得について伺います。

答 **農政産業課長** 農地の取得については、下限面積要件が定められています。現在、農業委員会において空家と隣接する農地を一体に取得する場合、下限面積は何アールが妥当か等、下限面積の緩和に向けた条件について協議を行っているところで

問 空家をセカンドハウスとして取得する事は可能なのか、伺います。

答 **まち整備課長** 市街化区域内に住する方が、空家をセカンドハウスとして利用購入することは可能ですが、物件ごとに制限があるため、相談が必要です。

問 空家をセカンドハウスとして取得する事は可能なのか、伺います。

答 **農政産業課長** 現在、3件の情報登録されており、交渉中の物件もあります。過去に契約をした物件は4件あり、ご利用いただいているところでは、今後も多くの方が登録

問 空家の事例は現在どの程度あるのか伺います。

答 **まち整備課長** 現在、常時、誰も住んでいない空家は、約240戸あると思われます。平成28年度に管理不全な状態として相談を受け、所有者に通知した件数は14件で、このうち解決した物件は7件です。

問 空家バンク制度の現状について伺います。

答 **農政産業課長** 現在、3件の情報登録されており、交渉中の物件もあります。過去に契約をした物件は4件あり、ご利用いただいているところでは、今後も多くの方が登録



町内にある空家



送迎時のさくら保育園



問

さくら保育園送迎時の

渋滞対策は

答

抜本的解決に全力を尽くす

小 峯 松 治

問 川島土地改良区は、昭和44年設立され、受益面積1,480haで、かん排事業の管理、農地の保全等に

寄与しています。現在、インター南側開発が進められており、受益地が減少した場合、土地改良区費も減少します。残された組合員に負担が増えないような対応を考えて欲しいと思いますが、考えを伺います。

答 町長 土地改良区の負担が今後増えるのではないかと考えは、私も思っています。まずは、土地改良区がしっかりとその辺を精査してい

ただきたい。町としても、この状況を十分理解しておりますので、できる限りの支援はしていきます。

問 さくら保育園は、開園以来駐車場が狭く、朝夕の送迎時は混雑し路上駐車の状態となっております。道路の交通量も多く、かなり危険性があります。将来の事を考えると、抜本的な対策の必要があると思いますが、考えを伺います。

答 町長 現在の駐車場での送迎対応は、大変危惧しています。園児、保護者、近隣住民の安全を考慮し、抜本的解決に全力を尽くしたいと思っています。

問 子育て支援は、各市町村とも重要課題として取り組んでいます。子育てするなら川島町を標榜していく考えはありますか。

答 町長 今年4月から川島町子育て支援総合センターを開設しました。かわみんハウスを中心に子育て支援事業を展開し、「子育てするなら川島町」と言われるようにしたいです。



問

用水路にかかる小規模な橋の改良は

答

調査をしながら判断していきたい

松 原 謙 司

問 防災行政無線により時報としてチャイムを鳴らす事はできないか。

答 総務課長 システム的に定時に鳴らす事はできません。見守り活動のお願いや、帰宅を促す放送をしています。

問 お昼の合図として、12時になんらかの放送をする事はできないか。

答 総務課長 防災行政無線の設置の目的もあり、放送の内容は、町民のみなさんの意見を聞いて研究していきたいです。

問 人・農地プラン策定地域内における道路整備の今後の予定は。

答 農政産業課長 平沼地区内にお



大型農業機械が通行できない橋

いて、飯島排水路脇の管理用道路の改良を予定しています。昨年度、測量を実施し、本年度は用地買収に協力をいただいた後、道路改良を進めます。

問 用水路に架かる小規模な橋の改良はどの程度行われているか。

答 まち整備課長 小規模な橋の改良は道路改良時に直しており、28年度は3ヶ所実施しました。

問 大型農業機械の利用時、舗装されていない道路において通行はできるが、途中に縁石のある橋に差しかかると通行ができない。その先の農地が耕作放棄されつつあり、橋の改良の必要があるが対応は。

答 まち整備課長 まずは人・農地プラン策定地域内を優先に整備をしたいが、地域以外でも、大型農業機械の利用に支障があるなら、現地調査をしながら判断していきます。



朝の渋滞の釘無橋

問 川越栗橋線の整備について、次の点について伺う。①釘無橋の朝の渋滞についての対策対応は。②釘無橋の歩道は狭く自転車での通行が危険な状況だが、町の対応は。③歩道未整備区間の県の計画と町の対応は。④太郎右衛門橋とサイクリング道路の交差点の安全対策は。

答 町長 近年の調査で川越桶川間の交通量は1万6千台とされており、今後も増加が予想されます。混雑の緩和、釘無橋及び歩道未整備区間の解消など課題解決に向け県への要望



問

県道川越栗橋線の整備は

答

県への要望活動を努力していく

飯野徹也

活動を鋭意努力していきます。

問 「リサイクルセンター」について。

近年、町内でリサイクルの看板を掲げ、高い塀を巡らし建屋を持たず家電製品を大量に積み上げている業者

があります。近隣住民にとっては生活環境の悪化を心配しています。町

は、現状の把握、業務の実態、今後の対応についていかに考えているか。

答 町長 現在町内には不用品買取り関係の業者が9つあり、これらの施設は高い塀で囲われた施設が多く町民が不安を抱くことがあります。

職員を派遣し聞き取り調査等を実施、実態の把握に努めています。

問 水源を県水に大きく依存している町にとって、漏水対策は重要な課題です。町はどのような取り組みをしているか。

答 町長 漏水の早期発見、修繕を実施。また過去の調査を活用し原因の分析、計画的な修繕の実施など、事前の対応策についても研究していきます。

町長に対する意見と提案件数は。 **答 町長** 広聴箱、町ホームページのご意見箱コーナー。手紙やメール年2回の広報かわじま「私の考える川島町」等で、お受けしています。

問 町長に対する意見と提案件数は。 **答 町長** 広聴箱、町ホームページのご意見箱コーナー。手紙やメール年2回の広報かわじま「私の考える川島町」等で、お受けしています。

答 政策推進課長 提案件数は28年度は62件、27年度は60件です。広報の専用紙では、28年度は37人57件、27年度は17人24件で、担当課で状況確認や実施の是非を検討しております。氏名住所が記載されたご意見に対し文書にて、返信をしております。

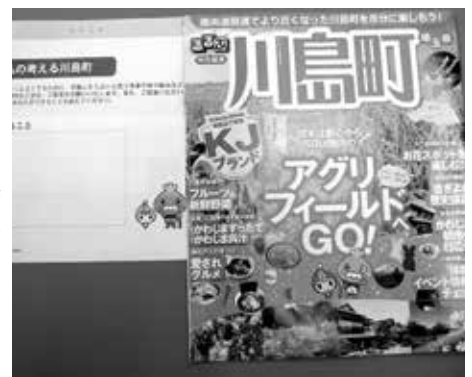
問 町の農業政策等について。 **答 農政産業課長** 農業の活性化と担い手の確保、農地の保全などの施

問 町長への提案は、町政にどのように活かすのか

答 実施可能な場合、早急に対応します



昭敏地菊



かがやく町を目指して

設を展開し、特産品のいちじく・苺・米は他の産地と差別化を図り、ブランド化を進めてまいります。農協、土地改良区、商工会は町の発展に不可欠な団体であり、随時調整と連携を図っております。29年度町の減反目標は、達成の見込みです。また30年度の減反政策廃止については、生産者に対して正確な情報を丁寧に提供し需要に応じた生産を進めます。飼料用米の多収品種の推進は、農家所得の向上に貢献しますので、関係機関と調整をしてまいります。

問 大型物流倉庫の災害予防指導は。 **答 総務課長** 川越消防局に確認したところ、町内の4件の倉庫を立入検査し、不備な事項については継続して指導します。とのこと。

問 農産物販売と観光客については。 **答 町長** 町も観光を今6次産業化の中で進め農産物直売を考えています。

議会日誌

5月

- 2日 議会運営委員会
議会全員協議会
- 10日 5月臨時会
- 19日 東武バス川島町役場～
若葉駅東口線 開通式典
- 27日 川島中学校体育祭
西中学校体育祭
- 28日 水防訓練

6月

- 2日 議会運営委員会
議会全員協議会
- 8日～15日 6月定例会
- 15日 議会全員協議会
議会報編集委員会

7月

- 3日 議会報編集委員会
- 10日 議会報編集委員会
- 13～14日 文教厚生常任委員会 行政視察
- 20～21日 総務経済建設常任委員会 行政視察

川越地区消防組合議会

菊地 敏昭
飯野 徹也
小峯 松治

平成29年第2回組合議会臨時会が、5月23日に開催されました。今臨時会は、任期が2年の初議会のため、正副議長等の選任が行われ、議長に川越市の小林薫議員、副議長に川越市の高橋剛議員、監査委員に川越市の片野広隆議員が選任されました。

また、11名の委員による消防庁舎及び訓練施設等に関する特別委員会が設置され、委員長に川越市の柿田有一議員、副委員長に菊地敏昭が選任されました。特別委員会は、継続審査とすることに決定しました。(菊地)

比企広域市町村圏組合議会

森田 敏男
道祖土 証

平成29年第2回組合議会臨時会が、5月26日に開催されました。最初に宮崎善男吉見町長より副管理者就任の挨拶がありました。次に常任委員会委員の選任が行われ、空席であった総務常任委員長に吉見町の荻野勇議員、副委員長に東秩父村の松澤公一議員、厚生常任副委員長に滑川町の田幡宇一議員が選任されました。

また、監査委員については、川島町の森田敏男議員が、選任されました。(道祖土)

表紙解説

「バラの小径」は平成の森公園の代表的なシンボルとして有名です。

平成8年に開園以来、公園を訪れる方が町内、外問わず増加傾向になっています。

ショウブ園の隣には、古代はずが生息しています。

役場庁舎にお立ち寄りの際には一歩足を伸ばして「平成の森公園」を散策して見ては、如何ですか。

7月上旬、ハスが満開状態でした。写真の右側は、東屋で休憩場所として最高です。(写真・文章/栗岩)

次回9月の定例会

9月5日

開会予定です。

編集後記

田んぼの稲もすくすく成長し、今年も町内一面に緑の絨毯が敷詰められました。過ごしにくい梅雨ですが、農作物の成長には必要な季節です。

先日蛍鑑賞する機会がありました。暗闇の中、沢山の蛍が光を放し元気に飛交う光景は幻想的で、涼しげな気持ちになり、梅雨時ならではの風情が感じられる一時でした。

7月も下旬になると町内各地で夏祭りが催されます。地域のコミュニケーションを図る場として沢山の皆様にご参加いただければ幸いです。

さて、町議会も任期半分が過ぎました。後半2年間の委員構成が決定し、編集委員も一部変更となりましたが、引き続き新委員で読みやすい議会だよりの発行に努めてまいります。(爲水)

議会報編集委員会

委員長	爲水 順二
副委員長	栗岩 輝治
委員	遠山 松尚
委員	小村 美代子
委員	稲村 松治
委員	松原 謙司
委員	森田 敏男
相談役	